

○佐渡ロングライド参加記録○

5月15日(日)佐渡ロングライドに参加しました。

この大会は佐渡島西岸凹部中央の佐和田より時計回りに佐渡島を1周する210キロのAタイプと同じく佐和田より北半分の大佐渡を1周する130キロのBタイプ等があります。

千代田走友会からは2011年に岡田悦男さんがAタイプ、僕がBタイプに出場したのが最初でしたが年々参加者が増え今年もAタイプに岡田悦男、関口佳彦、北原淳子、徳山の4名。Bタイプに栗野剛、大日向忍、大谷あかねの3名の皆さんの参加です。

今年もバスツアー利用となりました。土曜日6時45分大宮発。日曜日ゴール後18時佐渡・佐和田発。月曜日4時大宮着の弾丸ツアーです

フィニッシュ制限時間はAタイプ18時、Bタイプ16時ですが帰りのバスが佐和田18時発なのでバイク解体・袋詰め、着替えを考えると17時にはゴールしたいところです。



○5月14日(土曜日)

バスツアーは大宮駅を6時45分出発の予定です。僕は西日暮里から京浜東北線で大宮に行く予定でしたが、いきなり朝から京浜東北線がストップ。

結局、池袋・赤羽乗換えでやっと大宮着。他の皆さんもギリギリで時間に間に合うといういきなりのハプニングでした。

それでもバスは順調に新潟へ。新潟港から12時35分発フェリーに乗り佐渡入りですが、フェリーの中はロングライド参加者でごった返しです。何とかテーブルと椅子を確保して早速、

乾杯・宴会となりました。15時5分、佐渡は両津港に着きバスは大会会場の佐和田へと向かいます。

16時頃、佐和田の駐車場に到着。輸行していたバイクを組み立て受付となりますが、その際北原さんの知り合いの方がいるバイクメーカーのジャイアントのブースでバイクを点検してもらったところ、大日向さんのタイヤから空気漏れがしていることが判明。一時はジャイアントブースのスペアバイクの使用も考えましたが、小宮山さんから譲って戴いたバイクで完走したいという大日向さんの強い願いがジャイアントのメカニックの方々に通じ、ようやく出場可能となりました。



なんとか受付、バイクの預託も終わりバスで一路ホテルへ。入浴、夕食を済ませ明日は3時起床なので8時半には早々に床につきました。

○5月15日（日曜日）

3時15分頃起床。おお！男4人、誰もタイマーをセットしてなく危うく寝過ごすところでした。他人任せはやめましょう。

朝食後バスで会場に向かい、預託していたバイクを引き取ります。

スタートはAタイプの後にはBタイプとなるのでBタイプ参加の3人と別れ、スタートの準備をしようとしていたらAタイプはすでにスタート整列をしています。僕と北原さんは早々に整列に入りました。同じAタイプの岡田さん、関口さんは先行しています。

天気は快晴ですがまだ朝早いので若干肌寒く感じます。問題の風は殆ど無風。今までの参加した中でもベストのコンディションでしょう。



AタイプはA1からA3に分かれていて5時30分にA1からスタートします。A2の僕達は5時53分スタート。北原さんと前後して走ります。

走り始めはテンションが上がる。早速小さなアップダウンが始まります。

気持ちよく走れているので、最初の20キロ相川エイドはパスして先を急ぎました。

佐渡西岸の千畳敷、尖閣湾あたりは奇岩も多く景色もよいのですが、何しろ平地では約30キロで走行し、まだバイクもバラけてなく団子状態なので景色を見る余裕はありません。

時折猛スピードの大人数トレイン(車列)が抜き去っていくのが少々怖い。

スタートから1時間39分の7時32分、40キロの入崎エイドに入ります。きなこ餅、大福、

バナナなどを戴きボトルに水を補給し 10 分ほどで出発。中川さんの故郷五十浦を過ぎるといよいよ 57 キロ地点の高低差 130m の Z 坂に差し掛かります。Z 坂はトライアスロンを含め 5 回目なので要領はわかっていますが、ここで北原さんが廻りの男性を蹴散らしガンガン登って行き、僕は慌てて付いて行きます。

北原さんはママチャリと同じノーマルペダルなのでペダルにシューズを固定するビンディングペダルに比べると格段に効率が悪いはずなのですが男前の走りです。

Z 坂を登りきって曲がりくねった下り坂を過ぎ、海に出ると名所大野亀が現れます。大野亀の登り坂を過ぎ佐渡島北端を廻り東岸に出ます。

72 キロはじき野 AS は混雑しているのでパスして 100 キロの両津 BS (ベントウステーション) を目指します。ここから佐渡の東岸になり佐渡島の南半分の小佐渡が両津湾越しに見えます。

「あの先まで行くの！」 イエイエまだまだ序の口です。



10 時 7 分、さて腹ペコ状態でやっと両津 BS に着きました。ところが今年から弁当配給のシステムを変更したのが裏目に出て大行列になっています。ゲストサイクリストの小島よしおさんも長い行列に並んでいました。千代田 B タイプの 3 人は昼食をコンビニで済ましたとの事でした。来年は改善されることを期待しましょう。

両津 BS を 10 時 43 分に出発。いよいよ後半戦です。次のエイド多田 AS まで 40 キロひたすら進みます。ここまできると足に疲れが溜まってくる。

A タイプは 175 キロ辺りから 3 箇所大きな坂があるため、ここはあまり足を使いたくないので適当に乗れるトレインを探します。ちょうど手頃なトレインに乗り次のエイドまで連れて行ってもらいました。12 時 7 分多田 BS に到着しました。

おにぎり、オレンジ、バナナ等を戴きすぐ出発。13 時 10 分 162 キロの小木 AS に到着。さてここからゴールまで 48 キロ。ところが A タイプは甘くない。ここからメインデイッシュの坂が続きます。

13 時 19 分、北原さんより先に小木 AS を出発。この辺りになるとバイクもバラけてきて後ろから抜かれることも少なくなります。

小刻みな坂を経て南端の沢崎灯台の前を廻り西海岸に出ます。そこから右折すると後半最初の大きな坂に入ります。高低差は 170m ですがだらだらと際限なく続くような気がします。

何とか坂をクリアし細い曲がりくねった下り坂を下りて海岸に出ると最後の 180 キロ素浜 AS です。やっと到着したら、何と北原さんが先着していました。僕が途中トイレに行っている間に抜かれた様です。

最後の補給をして、ここでも僕が北原さんより先に出発。左折するとすぐに二つ目の坂があります。この時間気温も上がっているのに登り坂では汗が目にしみますがハンドルから手を離す事も出来ません。まあ登りがあれば下りもある訳で我慢、我慢。

坂を登り切ったこの辺りから道路に車が出てくるので注意が必要。三つ目の坂を越えたら後は海岸沿いをゴールに向かって走るだけ。ゴール後のラーメンとビールだけ楽しみにペダルを回します。

ゴール3キロ程手前で北原さんが追い付いてきて15時43分、二人一緒にゴールしました。

ゴール後、北原さんは入浴に行きましたが僕は風呂よりもラーメンとビールです。

その後、関口さんに続き、パンクしさらに前輪ホイールが割れたためサポートカーを呼んで応急修理してもらった岡田さんもゴールしました。

Bタイプの3人は中川さんの故郷五十浦の透明で綺麗な海を楽しんだり、エイドでは美味しい蕎麦やオニオンスープ、フルーツ等を戴き、大野亀の売店でアイスクリームを食べたりして景色と共に佐渡を満喫しながら14時半頃にゴールしました。

早い時間のゴールなのでスーパー銭湯の熱い湯で日焼け跡をピリピリさせたけど、湯に漬かり景色見ながら達成感に浸る余裕もありました。

たくさん写真を撮ってくれた栗野さん。我儘な姫君お二人のエスコート疲れ様でした。



今回の大会では大日向さんと大谷あかねさんはロードバイクに乗り始めて1年未満で坂やトンネルの多いBタイプ130キロを楽々走破しました。大日向さんはエイドでタイヤに空気を入れながら坂には不向きなギア灯の大きいバイクでZ坂、大野亀の坂を登り切るこれも男前の走りでした。

北原淳子さんはノーマルペダルでAタイプ女子では早い時間にゴールしました。これらも千代田の女子パワーですね。

何はともあれ全員事故なく無事にゴールできて何よりでした。

この大会はAタイプの参加資格として100キロ以上の大会を完走している事が必要です。初心者の方はBタイプからの参加となりますが多少の練習と千代田の根性があれば余裕で完走できます。興味のある方は参加されたら如何でしょうか。

さて帰りは18時過ぎに予定通りバスで佐和田を出発し、小木港から直江津港行き佐渡汽船フェリー「あかね丸」に乗り帰途に着きました。

時間：9時間50分

走行時間：8時間21分

平均時速：24.9キロ

以上